

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	5-	2	
会計	款	項	目
一般	2	1	6
課名	町民課		
係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	NPO、市民活動団体	目的 (対象がどのような状態になっているか)	どういん市民活動支援センターを主体として、市民活動団体の活動支援を行うことで、住民にとって市民活動をより身近なものと感じられるようにし、以ってまちづくりに参加しやすい土壤をつくる。
事業内容		住民活動支援事務…平成28年6月に「どういん市民活動支援センター」を町総合文化センターの2階のオープンスペースに開設し行政が直接運営するようになった。市民活動に関する情報、活動状況、課題などを共有し市民活動団体を支援することによって、市民活動団体自らが町運営の一翼を担えるような団体として成長するよう事業を展開していく。 シルバー人材バンク（個人ボランティア登録）の立ち上げを市民活動支援センターで行う。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
1	町や自治会などと連携している市民活動団体数	18	18	17	団体	→	19
2	地域の行事や近所づきあいへの参加意識	—	—	—	%	↑	↗
3	地域活動やボランティア活動に参加している町民の割合	—	—	—	%	↑	↗
4							
5							
		令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
	全体事業費（千円）		640		6,469		7,415
財源 内訳	うち一般財源		548		6,400		7,282

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					C削減の余地が大きい

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	事業者のノウハウを活用し、市民活動団体の活動を支援していく。	③取組の課題	団体内部の交流は活発であるが、地域貢献や行政等と協働する市民活動団体の育成ができていない。
②R6年度に実施した取り組み	とういんわくわくフェスタ2024、とういん市民活動支援センター登録団体代表者会議を実施した。	④今後の改善計画	事業者のノウハウを活用するとともに、情報提供や国等の補助金を活用し、市民活動団体の活動を支援していく。